

## ニジンスキー、パブロフ、ルジマートフ、ヴィシニョーフ… 世界的なダンサーを輩出する世界最高峰のバレエ・アカデミー

ロシア国立ワガノフ・バレエ・アカデミーは、1738年帝政ロシア時代、現在のサンクトペテルブルクに帝室バレエ学校として設立されたアカデミーです。

帝室バレエ学校の卒業生でマリンスキー劇場のソリストとして活躍していたアグリッピナ・ワガノワ（1879～1951）が教師として母校に戻り、クラシック・バレエの技法を体系化した教授法「ワガノワ・メソッド」を生み出しました。

1957年、アグリッピナ・ワガノワの功績を称え、アカデミーに彼女の名前を冠し「ロシア国立ワガノフ・バレエ・アカデミー」の名前が生まれました。

現在アカデミーでは、ロシア全土から選り抜かれた9歳から19歳までの生徒たちおよそ350人が学んでおり、卒業生は一流のバレエ・ダンサーとして、名だたるバレエ団にスカウトされ世界中で活躍しています。



現在のロシア国立ワガノフ・バレエ・アカデミー



ワガノワと生徒たち

## ジプシー娘パキータとフランス軍士官の恋を描くバレエ「パキータ」 日本で初披露されるワガノワ版のパキータをお見逃しなく

振付家プティパの生誕200年を迎えた2018年に、注目が高まる作品「パキータ」。

1847年のロシア初演で脚光を浴びたものの、グラン・パのみを抜粋して踊られる時代が長く続いていました。

今回上演されるのは2008年にY.ブルラーカが舞踊譜を研究し振付けたグラン・パを含むワガノワ版。衣装もオリジナルに近づけ、長らく忘れられていた複数のヴァリエーションを復活させるなど、見どころ満載の楽しい作品。（上演時間約50分）



あらすじー舞台はフランス軍占領下のスペイン。フランス軍の士官リュシアンは、ジプシーの美しい娘パキータと強く惹かれ合います。ふたりは、貴族とジプシーという身分の違いや、パキータに恋心を抱く恋敵による悪だくみを乗り越え、晴れて結ばれます。

## 「くるみ割り人形」の初演をつとめたワガノフ・バレエ・アカデミー 世界で最も輝きを放つ、歴史ある“ワガノフのくるみ”が吹田にやってくる！



ワガノフ・バレエ・アカデミーは、三大バレエのひとつ「くるみ割り人形」を1892年の初演以来、毎冬マリンスキー劇場で演じています。

子どもが主役で少女マーシャの成長を描いた「くるみ割り人形」を、若い美しさで瑞々しく輝かせるのが“ワガノフのくるみ”の最大の魅力。そのクライマックスシーンである第3幕を上演します。（上演時間約50分）



あらすじーマーシャと王子は夢の国へといざなわれます。夢の国では二人を歓迎する美しい踊りの数々…スペインや中国、ロシアなど各国の踊りや、花のワルツが繰り広げられ、マーシャと王子もグラン・パ・ド・ドゥを披露するのです。

